

第18回

小さな展覧会



園部町今林6号墳出土短甲

平成13年8月18日～9月2日

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター

後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館

展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、2000年度に32件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、そのうち注目された調査12件を取りあげ、京都府内の各関係機関の発掘成果12件と合わせて展示することといたしました。

この展覧会の目的は、冒頭で述べましたように、前年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、合わせて一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことにありますが、そのためにも、よりわかりやすく、親しみやすい展示を心がけたつもりであります。

今回の展覧会に後援をいただいた京都府教育委員会をはじめ、協賛をいただいた向日市文化資料館、いろいろとご協力賜った各関係機関に対しまして、深く感謝申し上げます。

2001年8月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

理事長 樋口 隆 康



遺跡あらかると — 丹後(1) —

あかさかいまい
【赤坂今井墳丘墓】 中郡峰山町赤坂

峰山町教育委員会・(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

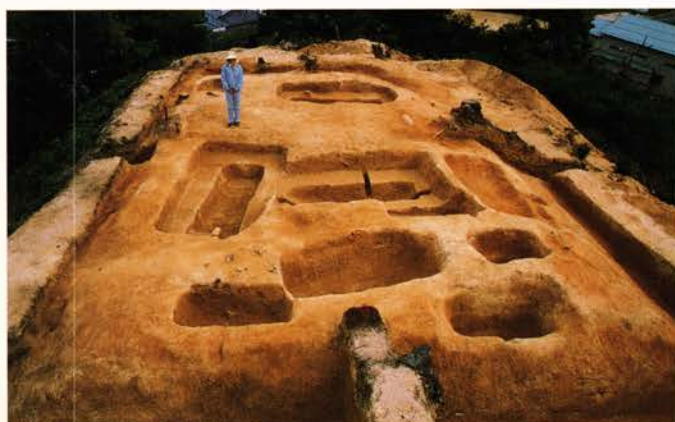
中郡盆地から福田川流域に抜ける狭隘部に占地する弥生時代後期の大型墳丘墓です。墳頂部には巨大な埋葬主体部を含め6基、周辺部には土壙墓や土器棺墓が18基以上造られています。そのうち、第4主体部の底面に厚く敷きつめた赤色顔料の上面から管玉・勾玉からなる頭飾り・垂飾具が鉄剣やヤリガンナとともに原位置で見つかりました。



ふるてんのう
【古天王墳墓群】 竹野郡弥栄町和田野

弥栄町教育委員会調査

弥栄町を縦断する竹野川の左岸丘陵稜線上に分布する弥生時代後期の墳墓群です。第2・5号墓の2基が調査されました。第5号墓からは、木棺直葬の主体部10基、土器棺3基、土壙1基が、多様な弥生土器や金属器とともに検出され、中には、河内系の大型長頸壺も含まれています。



いまち
【今市墳墓群】 中郡大宮町河辺

大宮町教育委員会調査

北流する竹野川の東方丘陵先端部に構築された墳墓群です。2号墓は、下層に弥生時代後期の25基にもおよぶ埋葬主体部をもった墳墓があり、その上層に古墳時代後期の木棺直葬墳が営まれています。弥生土器の多くは墓壙内破碎供献土器で、その他に鉄製ヤリガンナやガラス玉、6世紀の須恵器・土師器があります。また、墳丘上には鎌倉時代の経塚が造られていました。



主な展示資料 — 赤坂今井墳丘墓出土 —



甕



甕



頭飾り出土状況(パネル展示)

遺跡あらかると —丹後(2)—



おきた
【沖田遺跡】 中郡大宮町森本
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

竹野川の上流、左岸の丘陵裾付近に所在する縄文時代～室町時代の集落遺跡です。古墳時代後期の竪穴式住居跡や各時代に掘削された溝などの遺構とともに多量の遺物が出土しました。その中でも鎌倉時代～室町時代の男性人形、刀子や船の形代などの多彩な木製品と、動物を墨書した土師器皿は特筆すべきものです。

【エノク経塚群】 宮津市須津
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

平安時代中期頃から始まる仏教経典を埋納する風習が全国に広がるなか、丹後地方もその例に漏れることなく、各地に経塚が営まれました。エノク経塚では、丹波・丹後地方に普遍的なL字形埋納坑を伴うものが5基検出されました。東播磨系の中世須恵器甕や、鎌倉時代の越前焼三耳壺などの外容器が出土しています。副葬品には洲浜草鳥鏡があります。



ひよしがおか
【日吉ヶ丘遺跡】 与謝郡加悦町明石
加悦町教育委員会調査

加悦町古墳公園の北に隣接する低丘陵上に広がる弥生時代中期の環濠集落遺跡です。西端部には大形の方形貼石墓が1基構築されています。南に偏した1基の埋葬主体部棺底から緑色凝灰岩製管玉430個以上と炭化米が出土しました。環濠からは多量の弥生土器、集落域からは玉生産関連の石製品や鉄滓が見つかっています。



主な展示資料 —沖田遺跡出土—



墨書土器



船形木製品



唐傘の部品

遺跡あらかると —丹波(1)—

ながすなみなみ

【長砂南遺跡】 綾部市豊里町

綾部市教育委員会調査

由良川の中流域の右岸、自然堤防の微高地に営まれた集落跡で、平成7年度の試掘調査で新たにその存在が明らかになりました。弥生時代後期の円形竪穴式住居跡、古墳時代中～後期の方形竪穴式住居跡、奈良時代の掘立柱建物跡、鎌倉時代の土坑などの遺構があります。出土遺物中、土師質角坏は全国で2例目です。



いまばやし

【今林古墳群】 船井郡園部町内林

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

古墳時代中期を中心とした古墳群ですが、さらに古い弥生時代末～古墳時代初頭の墳墓が新たに見つかりました。木棺直葬墳である6号墳から銅鏡や長方板革綴短甲をはじめとした多種類の鉄製品と玉類、8号墓からは銅鏡や朝鮮半島に特徴的な踏鋤が出土しています。



いけがみ いけがみこさと

【池上・池上古里遺跡】 船井郡八木町池上

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

筏森山の東麓裾部の微高地に広がる、弥生時代～鎌倉時代にかけて営まれた大規模な集落・墳墓遺跡です。遺跡の東南隅から、弥生時代中期の円形竪穴式住居跡2基、古墳時代後期の方形竪穴式住居跡11基、土坑などが、また東に隣接する池上古里遺跡でも遺構が見つかり、その広がりが注目されます。



主な展示資料 —エノク経塚出土—



越前焼三耳壺



須恵器



洲浜草鳥鏡

遺跡あらかると — 丹波(2) —



^{いけじり}
【池尻廢寺跡】 亀岡市馬路町

亀岡市教育委員会調査

8世紀に入ると全国各地で爆発的に寺の造営が盛んになりますが、この寺跡もその一つです。先年確認された礎石建物跡から東方30mの地点で新たに瓦積建物基壇が、14.5m×12.5mにわたって検出されました。基壇は平積みで、小口積みや補修痕跡もあり、地覆石や階段状遺構もみられます。金堂跡かも知れません。

^{ちよかわ}
【千代川遺跡】 亀岡市千代川町

亀岡市教育委員会調査

行者山から緩やかに東へ延びる丘陵に挟まれた台地上に位置しています。縄文時代～鎌倉時代にいたる集落跡で、官寺的様相の強い桑寺廢寺や、推定丹波国府跡をも含む大複合遺跡です。弥生時代中期の竪穴式住居跡・方形周溝墓や奈良時代の溝などが、多様な弥生土器や磨製石器類・須恵器とともに見つかっています。



^{おおた}
【太田遺跡】 亀岡市穉田野町

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

行者山の東南麓にあって、弥生時代前期～室町時代までの集落を中心とした遺跡です。弥生時代の円形竪穴式住居跡、古墳時代前・後期の方形竪穴式住居跡や掘立柱建物跡、奈良時代～室町時代の掘立柱建物跡や井戸などが見つかりました。縄文時代草創期の有舌尖頭器や平安時代末期の宝相華文軒平瓦は珍しいものです。



主な展示資料 — 今林古墳群出土 —



長宜子孫銘内行花文鏡



獣形鏡



鉄製踏鋤

遺跡あらかると —山城(1)—

ながおきょう

【長岡京跡】 向日市森本町・京都市南区中久世

(財)向日市埋蔵文化財センター・(財)古代学協会調査

京都市と向日市の市境、長岡京左京一条三坊(旧条坊呼称)で、南北・東西に整然と配置された掘立柱および礎石建物からなる4町以上を占有する建物群が検出されました。「延暦十二年八月」「勅旨所」「東院内候所」と書かれた木簡などの出土から、桓武天皇の平安京遷都に係る離宮「東院」であることがほぼ判明しました。

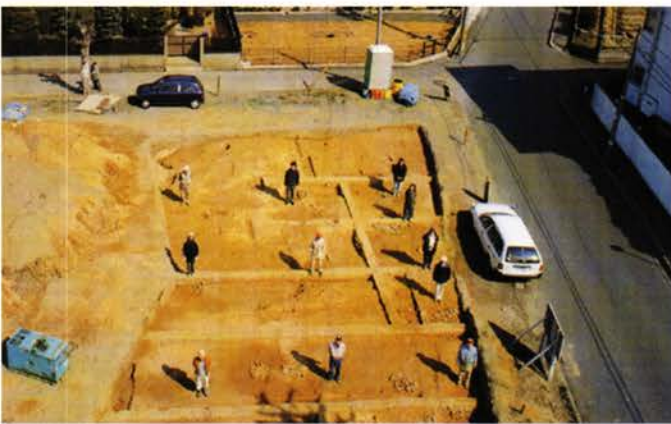


ながおきょう

【長岡宮跡】 向日市鶏冠井町

(財)向日市埋蔵文化財センター調査

大極殿院の正門(閣門)跡が見つかりました。出土した瓦から難波宮から移築されたものと考えられます。平安宮には大極殿の南には門がなく、都城史上最後の閣門と言えます。



いまごとおつか

こうたり

【今里大塚古墳・神足遺跡】 長岡京市今里・神足

(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

乙訓地域最大の横穴式石室を持つ今里大塚古墳が公園整備に伴い発掘調査されました。石室奥部に落込んだ天井石は余りにも巨大で、内部を調査することはできませんでしたが、その巨大な石室の玄門部と羨道が明らかになるとともに長岡京造営に伴い天井石等を再利用するため破壊されたことがわかりました。JR長岡京駅西口の再開発に伴う神足遺跡の発掘調査では、弥生時代中期の方形周溝墓の溝の中から全国的に珍しいイノシシ形の土製品が出土しました。

主な展示資料 — 太田遺跡出土 —



有舌尖頭器



宝相華文軒平瓦



瓦器碗

遺跡あらかると —山城(2)—



ながおきょう いのうち
【長岡京跡右京・井ノ内遺跡】 長岡京市井ノ内
(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

長岡京右京の光明寺の東方の調査では、1/2もしくは1/4町規模の宅地内から長岡京期の立派な井戸が見つかりました。最下層からは、当時の土器や木器がたくさん出土しました。木製品には、3寸毎に刻みを入れた8寸の物差しや人面を彫刻した陽物形木製品もあります。平安時代前期にはごみ穴として再利用され、緑釉唾壺や印刻文で飾る大形の鉢が捨てられました。

とど
【百々遺跡】 乙訓郡大山崎町円明寺
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

天王山の東山麓を縦断する西国街道をまたいで広がる奈良時代～平安時代を中心とした遺跡です。近辺には山崎津や山城国府があり、大変重要な交通の要衝地でもあります。今回の調査では、古墳時代の溝、平安時代の落ち込みや掘立柱建物跡などが土器・陶磁器を伴って検出されました。中国越州窯青磁碗は注目されます。



しもうえのみなみ
【下植野南遺跡】 乙訓郡大山崎町円明寺
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

淀川の3河川合流地点より少し遡った桂川右岸の沖積低地に広がる、縄文時代～江戸時代の複合遺跡です。盛期は、100基近い方形周溝墓が営まれた弥生時代中期と、方形竪穴式住居群が形成された古墳時代後期の2時期です。方形周溝墓には石剣や石鏃を副葬した例もあり、掘立柱建物跡や道路遺構(久我啜)も見つかっています。



主な展示資料 —下植野南遺跡出土—



壺



高杯



把手付碗

遺跡あらかると —山城(3)—

【上津屋遺跡】^{こうづや} 八幡市上津屋

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

著名な木津川の流れ橋の西側に位置し、弥生・古墳・鎌倉～室町の各時代の遺物散布地として周知されてきました。調査地は、南北朝期の十三重石塔が現存する式内社の石田神社旧境内にあたり、福泉寺薬師堂が江戸時代の絵図に見えます。鎌倉時代以降の福泉寺薬師堂の沿革を知る上で貴重な遺構や遺物が検出されました。



【佐山遺跡】^{さやま} 久世郡久御山町佐古・佐山

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川の右岸の肥沃な沖積地にあって、旧巨椋池の南辺部に位置します。弥生時代後期から鎌倉時代頃まで断続的に営まれた複合遺跡です。多彩な住居跡が59基以上確認され、集落廃絶後の現代の景観にもその姿をとどめる久世郡条里にほぼ合致する道路遺構などが見つっています。

【女谷横穴群】^{おんなだに} 八幡市美濃山

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

横穴群が多数点在する男山丘陵の東側丘陵斜面にあり、従前「隼人の墓」とみる見解もあります。古墳時代後期(6世紀末～7世紀前半)に、周辺集落の居住者達がグループごとに横穴を構築して、被葬者を埋葬したのでしょうか。B支群では15基の横穴があり、平安時代にも再利用されたようです。



主な展示資料 — 女谷横穴群出土 —



台付長頸壺



提瓶



金環

遺跡あらかると —山城(4)—



たきぎ
【薪遺跡】 京田辺市薪

京田辺市教育委員会調査

名利酬恩庵一休寺の北西隣りで行われた調査では、鎌倉時代の建物の前面に造られた方形の池を伴う庭園が見つかりました。池内からは、膨大な量の土師器の皿が下駄などの木製品とともに出土しました。儀式や宴会が行われる毎に建物側から多数の土器を投げ込んだものと思われる、興味深い事例と言えます。

おおはた
【大島遺跡】 相楽郡木津町相楽

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

奈良県と界する平城山丘陵の北側の裾に広がる縄文時代～室町時代にかけての複合遺跡です。最盛期は、土器棺2基や方形周溝墓にみる墓域として利用した弥生時代中期、方形竪穴式住居や掘立柱建物を建てて居住空間とした古墳時代中～後期のようなようです。



くにきゅう
【恭仁宮跡】 相楽郡加茂町例幣

京都府教育委員会調査

内裏地区の範囲および構造確認を目的とした府教育委員会の調査では、内裏東地区の南端部で掘り込み地業の痕跡を検出し、南を画する施設が築地塀である可能性が高くなりました。恭仁宮の大極殿院の北方には東西2つの方形区画が存在しますが、東側の区画が、柱塀で画された西側の区画に比べて優位な位置づけとなります。



主な展示資料 —大島遺跡出土—



弥生土器



土師器



線刻文土器

展示リスト

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
赤坂今井墳丘墓	弥生土器	5	弥生時代	峰山町教育委員会
	鉄製品	4	〃	〃
古天王墳墓群	弥生土器	12	弥生時代	弥栄町教育委員会
	金属器	3	〃	〃
	管玉	1連	〃	〃
今市墳墓群	須恵器	2	古墳時代	大宮町教育委員会
	土師器	1	〃	〃
	弥生土器	8	弥生時代	〃
	玉類	3連	〃	〃
沖田遺跡	土師器	5	鎌倉時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	陶磁器	3	〃	〃
	木製品	10	〃	〃
エノク経塚	陶器	1	鎌倉時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	3	平安～鎌倉時代	〃
	土師器	4	〃	〃
	和鏡	1	〃	〃
日吉ヶ丘遺跡	弥生土器	3	弥生時代	加悦町教育委員会
	玉製作具	一括	〃	〃
	鉄滓	一括	〃	〃
長砂南遺跡	弥生土器	1	〃	綾部市教育委員会
	土師器	6	古墳時代	〃
	石製品	1	〃	〃
今林古墳群	銅鏡	2	弥生～古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	鉄製品類	10	〃	〃
	玉類	一括	〃	〃
	埴輪	3	古墳時代	〃
池上・池上古里遺跡	弥生土器	3	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	6	古墳時代	〃
	石製品	2	弥生・古墳時代	〃
池尻廃寺跡	軒瓦	4	奈良時代	亀岡市教育委員会
	墨書土器	2	〃	〃
	須恵器	3	〃	〃
千代川遺跡	弥生土器	4	弥生時代	亀岡市教育委員会
	磨製石器	5	〃	〃
	須恵器	3	奈良時代	〃
	灰釉陶器	1	〃	〃
太田遺跡	有舌尖頭器	1	縄文時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	弥生土器	1	弥生時代	〃
	軒平瓦	1	平安時代	〃
	瓦器	5	鎌倉時代	〃
	土師器	3	〃	〃
	陶磁器	5	〃	〃
長岡京跡	軒丸瓦	1	平安時代	(財)向日市埋蔵文化財センター
	軒平瓦	1	〃	〃
	木簡(レプリカ)	2	〃	〃
	須恵器	10	〃	〃
	木製品	2	〃	〃
神足遺跡	イノシシ形土製品	1	平安時代	長岡京市教育委員会
	弥生土器	4	弥生時代	〃

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
百々遺跡	土師器	5	古墳・平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	3	奈良～平安時代	〃
	陶磁器	5	平安時代	〃
	瓦器	2	〃	〃
下植野南遺跡	弥生土器	3	弥生土器	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	石器類	5	〃	〃
	須恵器	5	古墳時代	〃
	土師器	3	〃	〃
上津屋遺跡	瓦類	5	鎌倉～江戸時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	瓦器類	3	〃	〃
	土師器	5	〃	〃
佐山遺跡	土師器	5	弥生・平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	瓦器類	5	平安時代	〃
女谷横穴群	須恵器	6	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	土師器	4	〃	〃
	金属器	5	〃	〃
薪遺跡	土師器皿	200	鎌倉時代	京田辺市教育委員会
	瓦器椀	5	〃	〃
大島遺跡	弥生土器	1	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	土師器	5	古墳時代	〃
	須恵器	4	〃	〃
	ミニチュア土器	3	〃	〃
	線刻文土器	1	〃	〃
恭仁宮跡	二彩陶器片	一式	奈良時代	京都府教育委員会
	文字刻印瓦	10	〃	〃

凡 例

1. 本パンフレットは、2001年8月18日～9月2日の第18回「小さな展覧会」の展示パンフレットである。
2. 展示資料は、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターおよび各機関が主として2000年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。
3. 展示資料中、都合により員数等が異なる場合がある。
4. 資料調査、パンフレット作成、展示資料借用にあたっては、次の機関からご指導、ご協力を受けた。
(順不同・敬称略) 弥栄町教育委員会・峰山町教育委員会・大宮町教育委員会・加悦町教育委員会・綾部市教育委員会・亀岡市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・京田辺市教育委員会・(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都府教育委員会